

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：齋藤）（2組：池田）（3組：足立）（4組：齋藤）（5組：齋藤）（6組：足立）（7組：池田）（8組：足立）

使用教科書：（「精選 言語文化」第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 言	書 読					
1 学 期	古文の学習 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	○		【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつとしている。	○	○	○	5
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	7
	なよ竹のかぐや姫 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握する。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。	・指導事項 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。	○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	○	○	○	7
	中間考査					○	○		1

羅生門	・【知識及び技能】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・作品にこめられた主題を捉える。 ・【学びに向かう力、人間性等】 ・描かれた情景を読み取り、本文について話し合う。	・指導事項 ・作品にこめられた主題を捉える。 ・情景から作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			・【知識及び技能】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述している。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の主題を捉えている。 ○ ・【学びに向かう力、人間性等】 ・描かれた情景を読み取り、進んで本文について話し合おうとしている。					7		
中間考査							○	○			1	
伊勢物語	・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。			・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ○ ・【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。			○	○	○	6	
	・【知識及び技能】 ・用言の活用について、活用の種類を理解し、口語との違いを念頭に置いて、活用の仕方を理解する。	・指導事項 ・動詞の活用の種類や活用の仕方を理解する。 ・形容詞の活用の種類や活用の仕方を理解する。 ・形容動詞の活用の種類や活用の仕方を理解する。			・用言の活用について、活用の種類を理解し、口語との違いを念頭に置いて、活用の仕方を理解し、本文中の用言の活用の種類や活用形を見分けることができる。	○		○	○		6	
期末考査							○	○			1	
枕草子	・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深める。	・指導事項 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「九月ばかり」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・「はしたなきもの」では時間の経過による言葉の変化について理解する。			・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ○ ・【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。				○	○	○	7
徒然草	・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思想的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。	・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思想的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。			・【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思想的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ○ ・【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。				○	○	○	7
中間考査							○	○			1	

2 学 期	<p>訓読に親しむ漢文を読むために</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	○	○	○	4
	<p>魚父之利 狐借虎威 蛇足</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。 	○	○	○	10
	<p>夢十夜</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを本文の表現をもとに読み解く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作者の経歴や代表作を知る。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明する。 ・『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表する。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の小説を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述している。 	○	○	○	8
	期末考査				○	○		1
	<p>万葉集・古今和歌集・新古今和歌集</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確にとらえる方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代のものの見方や考え方、修辞法などを踏まえて和歌の世界をイメージし自分の言葉で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、各時代の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 <p>対象の捉え方の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。</p> <p>・着想・表現の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解している。 ・文語のきまりを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を的確に解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代のものの見方や考え方、修辞法などを踏まえて和歌の世界をイメージし自分の言葉で表現しようとしている。 	○	○	○	8

	言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。	○ ○ ○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	○ ○ ○	2
	【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。				【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。		
3学期	平家物語	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。	【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。	○ ○ ○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	【指導事項】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。			【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。		
	学年末考査						1
							合計
							106